

## 真の問題を見極める

インド・オリッサ州で、過激派ヒンズー教徒による激しいキリスト教徒の迫害が起こっています。多数のキリスト教徒が暴行を受け、殺され、家が焼かれ、約 20,000 人がジャングルの中へと難民となって逃げ込んでいると言います。

それは、今年 8 月 23 日、ヒンズー教の指導者が殺害されたことから始まりました。現地誌は、極左共産主義者の手によるものであると報じたのですが、殺害された指導者が反キリスト教主義者であったことから、過激派ヒンズー教徒が、25 日、孤児院を襲撃し、若い 20 代の女性を焼殺したことから大きな迫害の動きとなっていったのです。

しかしそこには単なる宗教的な争い以上の複雑な事情が絡んでいます。オリッサ州には、主として二つの民族、クイ族(50%以上)とパノ族(25%)が住んでいます。このうち、パノ族のほとんどがキリスト教徒であり、政治的な実権はヒンズー教徒のクイ族が握っているのです。この迫害が、オリッサ州の警察当局にコントロールされていないのはそのためで、いわゆる「民族浄化」の動きが重なっているのです。このような問題の解決のためには、信教の自由よりも、国際人権擁護にアプローチしていく必要がある、と私は考えます。

民族浄化の中心は、自民族中心主義、あるいは、



自己中心の集団化そのものです。こうした自己中心性の問題に根本的な解決をもたらすのはキリストの福音において他にはありません。福音は人間の新生あるいは新しい創造を約束するものです。人間の自己中心性が変えられる、いわゆる人間性のコペルニクス的転換を語るものです。宗教的イデオロギーを振りかざしたり、に振り回されたりするのではなく、人間として正しいこと、人間の罪性を弁えつつ、人間に真の平和をもたらすのちを得させる働きこそが求められている、と思わされるのです。(HFI 代表 福井 誠)

## CONTENTS

- 巻頭言 「真の問題を見極める」 (福井誠) …P.1
- 現地活動報告 フィリピン/ベトナム (田原寿子) …P.2
- スポンサーの広場 田近望さん・直美さん …P.4
- 日本事務局から NPO法人HFI設立総会と認証申請 (事務局) …P.5
- 今号の研究 フィリピンのリサイクル商品 (村田忠秋) …P.6
- お知らせ HFIバザー開催 …P.7